

行川さをり^{vocal} 田中邦和^{sax, flute} shezoo^{piano}

2019 11月30日(土)

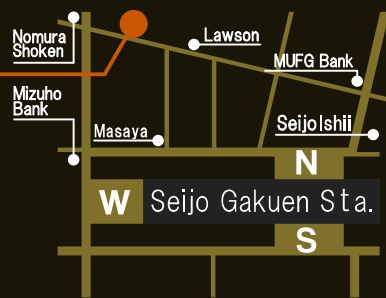
開場 13:00
開演 13:30~ afternoon live
(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



田中邦和

1966年生まれ。学生時代に楽器に親しみ、その後数年のビジネスマン生活を送った後にフルタイムのミュージシャンとなる。当初より独学で楽器を修め、あらゆるサクソ（そして他の木管楽器）を演奏する。ジャズ、ポップス、ロック、映画音楽、即興演奏等の幅広いジャンルに関わり続け、そのすべてにおいて若者からビッグネーム達と共演を重ねる。自分のサウンドを追求したいという姿勢はすべての現場において、独自のスタイルで多くを俯瞰すると評されるまでになる。メロディ、楽曲を大事にする歌手とのコラボレーション、楽器の可能性を追求する即興演奏等、身体と脳の描く世界を大切に築き上げて来ており、その成果はソロから多種編成にわたる録音作品においても聴く事ができる。日本国内のメジャーなジャズクラブ、コンサートホールでの演奏以外にも、フジロック、モンタレー、ロンドン、ニューヨーク他の国内外のフェスティバルにも参加している。近年は邦楽器、中東の民族楽器の演奏にも興味をもちはじめ演奏を始めている。

www.kuni-kuni.net

行川さをり

ボーカリストDianne Reevesに影響を受けてブラジル音楽に傾倒し、JazzとBrazil音楽を歌うボーカリストとして関東中心に活動。リズムカルで個性的なシラブルのスキヤットから静寂を描く声色まで、異国情緒あふれる色合いで空間を満たすような声が特徴。独特なニュアンスでの詩の朗読や日本語の歌唱にも定評がある。最近では、笙・箏・声のアンサンブル、華や書、コンテンポラリーダンス、ライブペインティング等とのコラボレーションによる空間表現など、活動の場を広げている。

【Work】
・CD
2010/12月1stCD「Se pudesse entrar na sua vida」
2013/3月2ndCD「Fading Time」
2015/12月3rdCD「[-scapes,]」※
※phacoscape（ファコスケイプ：ピアノ伊藤志宏・クラリネット土井徳浩とのトリオ）名義でリリース
・TVCMでの歌唱やコンビレーションアルバムへの参加など

CM：NTT/docomo/JR東海/資生堂/シャディー/西友/アーバンリサーチ.etc
<http://namekawasawori.com/>

shezoo

16歳でミュンヘン国立音楽大学に入学。CM・映画・映像・インスタレーション・アニメーション・ドキュメント等、多様な形で音楽を生み出す。ライブ活動では、抜群のメロディーメーカーであり情景や映像を喚起させるコンポーザー・ピアニストとして、アコースティック・カルテット「トリニテ」、夜に内在する音楽を探す「夜の音楽」、雑多なメンバーが奏でる「puis それから」、クラシック出身ではないミュージシャンによる「マタイ受難曲プロジェクト」を展開。様々なアーティストとの共演も多い。

2019年7人の歌手との連続ライブ「七つの月」@エアジンを行う。

<https://www.facebook.com/shezoo.shizu.73>